

(12) ガイドラインの活用例

チェックの方法例

・○×などの記号を用いてチェックする

	チェック項目	チェック
1	職員全体で子どもの権利や保育園の役割について理解している。	○

(◎ 十分できた ○ できた △ 十分ではない × できなかった)

・数字を用いて評価する

2	子ども一人一人の人格を尊重して保育を行っている。	④ 3 2 1
---	--------------------------	---------

(4 とてもあてはまる 3 ややあてはまる 2 あまりあてはまらない 1 全くあてはまらない)

・年2回チェックし、前回との比較をする

3	子どもの発達や経験の個人差、国籍や文化の違いを理解し、配慮している。	5月	2月
		△	○

活用例

・個人でチェックする

保育を振り返り、自己研鑽や園長面接等に活用する。

・クラス、学年でチェックする

保育の方法やカリキュラムの見直しなどに活用する。

・園全体でチェックする

環境の見直しや職員間の連携など、園の課題を見つける。

・園内研修

チェックするだけでなく、各項目の内容が保育指針ではどのように明記され繋がっているか等を調べることで、保育所保育指針の理解を深める。

チェックするだけにとどまらず今後の具体的な取り組みを考え、実践できるように記録しておきましょう。

いくつかの活用例を挙げさせていただきましたが、各園で工夫し、活用してください。